

中国語教育学会会報

第 66 号(通巻 91 号) 2024 年 1 月 25 日発行

〒161-8539

東京都新宿区中落合 4-31-1

目白大学外国語学部中国語学科

氷野善寛研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email headoffice@jacle.org

郵便振替口座 00110-1-191152

目次

1. 第22回全国大会発表募集	1
2. 2023年度第2回理事会報告	1
3. 事務局からのお知らせとお願い	12
資料①：発表申込表	14
資料②：応募規定	15
資料③：予稿集ウェブ公開同意書	17
資料④：予稿集執筆要領	18
資料⑤：理事選挙結果	20

1. 第 22 回全国大会発表募集

中国語教育学会第 22 回全国大会は、2024 年 6 月 1 日（土）、2 日（日）に大阪大学箕面キャンパスで開催されます。大会概要は下記の Web サイトをご覧ください。

<http://www.jacle.org/annual/>

第 22 回全国大会の発表申し込み期間は、2024 年 2 月 1 日（木）から 2 月 20 日（火）23:00（日本時間）です。発表申し込み前に必ず下記の学会 Web サイトにて最新の発表応募規定をご確認ください。

<http://www.jacle.org/application/>

発表申し込みは、2024 年 1 月 30 日（月）の時点で 2023 年度までの会費を納入済みの中国語教育学会会員に限ります。会費をまだお納めでない方は早めにご入金ください。なお、本学会の年度は 4 月に始まり、翌年 3 月に終わります。2023 年度は、2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までです。

Web 版会員名簿（会員情報管理システム）を通じて、会員ご自身で会費納入状況を確認することができます。

<https://a-youme.com/aymms/jacle/login/>

2. 2023年度第2回理事会報告

2.1. 開催日時・方式・出席者

日時：2023年12月2日（土）13:30～16:30

場所：オンライン（ZOOM）

出席者（敬称略）：

氷野善寛、加藤晴子、清原文代、丸尾誠、阿部慎太郎、植村麻紀子、佐々木勲人
鈴木慶夏、陳淑梅、西香織、西村英希、長谷川賢、平井和之、藤井達也、紅粉芳恵
渡邊ゆきこ

石井友美（『中国語教育』22号（2023年度）編集委員会委員長）

伊藤大輔（デジタルリソース委員会委員長）

森山美紀子（第21回全国大会準備委員会委員長）

上野振宇（幹事）、張雯茜（幹事）

中田聡美（幹事、第22回全国大会準備委員会委員長代理）

勝川裕子（次期理事候補）

欠席者（敬称略）：

三宅登之

古川裕（第22回全国大会準備委員会委員長、次期理事候補）

2.2. 報告事項

2.2.1. 2023年度第2回編集委員会報告

全部で20本の投稿があり、うち20本を受理し、5本を採択（論文3本、実践報告2本）し、依頼原稿3本と合わせて計8本が掲載予定であることが報告された。（2023年度第2回編集委員会は、11月26日（日）13:00-15:10にZoomによるリモート方式で開催された）。

また投稿期間については、2023度は例年よりも投稿機関を前倒した結果、査読期間を1か月以上設けることができた。査読者より投稿期間の前倒しに関して意見は特にないため、2024年度も同様に以下のスケジュールで進めることが報告された。

9/14(土) 投稿受付開始

9/28(土) 投稿締切（昼12時）

10/2(水) 査読依頼（原稿・査読用紙送信）

11/11(月) 査読報告締切

2.2.2. 第21回全国大会(2023年度)会計報告

第21回全国大会の会計収支について、以下の報告がなされた。

〔収入〕

大会開催費（事務局より）	¥400,000
大会参加費（〔講演者除く〕事前申し込み会員146名、非会員15名）	¥490,500
書店・出版社団体会員参加費（13社）	¥39,000
書店・出版社非団体会員参加費（4社）	20,000
通帳利子	¥2

計 ¥949,502

[支出]

あゆみコーポレーション（プログラム印刷・郵送費）	¥153,445
長机・椅子運搬・借用費	¥73,304
立て看板設置費	¥10,314
立て看板印刷費	¥18,700
教室借用・空調使用料	¥94,050
弁当費（準備委員、講師、初日学生スタッフ 18個）	¥13,500
学生バイト料	¥102,000
講師謝礼、旅費（宿泊代5万円+源泉徴収費を除く謝礼17,958円）×2名	¥135,916
源泉徴収費（2名分）	¥4,084
雑費（文房具や名札、備品など）	¥11,853
振り込み手数料	¥2,960
ゆうパック等郵送費	¥5,868

計 ¥625,994

残金（事務局返金） ¥323,508

2.2.3. 会員動向および会費納入状況

上野幹事より、会員動向及び会費納入状況により以下の通り報告された（敬称略）。

会員動向（会員数、新入会者、退会届提出者、会費納入状況）

(1) 会員数（2024年1月13日現在）：計584名

個人会員559（通常会員518名、名誉会員41名）／団体会員25名

(2) 新入会者（2023年5月15日～2024年1月13日現在）：計25名（以下敬称略）

高寧（北京語言大学東京校・非）、鎮守琳（関西大学大学院・院）、中川真宏（なし・他）、王宇清（九州大学）、坂田美湖（北京大学对外漢語教育学院・院）、戸田滯佳（金沢大学・他）、本田恵三（HSK日本実施委員会/一般社団法人日本青少年育成協会・他）、林松涛（語林中国語教室・他）、久保輝幸（横浜商科大学）、符麗紅（富山大学・非）、穆雪梅（長崎外国語大学・非）、陳瀟瀟（法政大学・非）、方雨琦（新東方前途株式会社・他）、金敬玲（國學院大學・院）、栗原諄壺（早稲田大学・院）、伊地知太郎（the courage・他）、楊知美（大阪府立東淀川高等学校）、李穎慧（個人・他）、何静（名古屋大学大学院・院）、張玥（慶應義塾大学・非）、黄暉勛（異文化コミュニケーション附属日本語学校）、高柳和男（なし・他）、蔡宜霖（神戸市外国語大学・院）、木村智子（なし・他）、畢文涛（北京語言大学東京校）

(3) 退会届提出者（2023年5月15日～2024年1月13日現在）：4名

(4) 除籍者（2023年9月30日）：13名

磯部美里（国際ファッション専門職大学）、王学群（東洋大学）、金川幾久世（兵庫県立長田商業

高等学校)、高橋 俊 (高知大学・他)、石 一含 (長崎国際大学・非)、石井 康一 (甲南大学国際言語文化センター)、鳥丸 知子 (九州栄養福祉大学・非)、陳 昭宜 (大阪経済大学・非)、白 海燕 (甲南女子大学・非)、李 静 (青山国際教育学院・非)、林 清 (桜美林大学・他)、林 文慧 (金沢学院大学)、潘 瀟 (熊本学園大学・院)

(5) 会費納入状況

会員動向および会費納入状況について、報告がなされた。詳細は「6.1. 会員動向及び会費納入状況」を参照。

2.2.4. デジタルリソース委員会報告

デジタルリソース委員会の活動について、以下の報告がなされた。

2.2.4.1. デジタルリソース委員会報告

デジタルリソース委員会では、定期的にWebサイトの更新作業を実施しており、2023年6月3日に開催された前回の理事会以降、以下の点について更新作業を行っている。

「学会情報」…会報第65号を掲載。

「研究会・講演会」…2023年度第2回研究会に関する情報を掲載。

「WEB版会員名簿」…新バージョンに全面更新 (入会システムを兼ねる)。

2.2.4.2. 外部団体等からの掲載依頼

事務局を通じて、外部団体のイベント告知及び大学等公募情報の掲載依頼があり、いずれも学会のWebサイトに掲載することに問題のない内容であるため、デジタルリソース委員長が採否を決定、委員会で掲載した。

○イベント：第9回城西大学中国語スピーチコンテスト

○イベント：第2回 TOPIKフォーラム

○イベント：玉岡賀津雄の『決定木分析による言語研究』(くろしお出版) 出版記念講演シリーズ1

○イベント：第17回 未来を強くする子育てプロジェクト 女性研究者への支援 「スミセイ女性研究者奨励賞」

○イベント：日・中・韓三言語連携による防災紙芝居多言語化プロジェクトの成果報告とラウンドテーブル

○イベント：中国語教育・外国語教育ワークショップ『やさしい』は『やさしくない』

○イベント：テスト理論から考える中国語教育-『TECC』の「これまで」と「これから」

○イベント：第8回 中国留学&就職フェア

○イベント：中国語教育国際シンポジウム『日本における中国語教育の現状と展望』

○公募情報：立命館大学 (6/23～8/18)

○公募情報：沖縄国際大学 (8/16～9/30)

○公募情報：岐阜大学 (10/29～11/30)

() 内は掲載期間

2.2.4.3. メーリングリストへのメンバーの登録と削除、アドレスの変更

メーリングリストの自動化プログラムによって、現在はメーリングリストへの登録、削除およびアドレスの変更は自動的に行っている。メーリングリストにこれらの変更が生じた場合には、デジタルリソース委員会のメールアドレスに通知が届くようになっている。

2.2.4.4. 「中国語教育学会からのお知らせ」について

2.2.4.2. に示された新規の公募情報および関連イベント情報について、掲載と同時に会員メーリングリストにリマインダーを配信した。

2.2.5. 研究会開催報告および今後の研究会開催予定

今年度の研究会について、以下の報告がなされた。

【終了分】

2023年度第1 回研究会（運営担当：西日本）

日時：2023年8月5日（土）13:00～15:20

開催方法：Zoom オンライン

当日の流れ（発表30 分+質疑応答10 分= 1 人40 分）

13：00～05 諸注意

13：05～13：45 [研究発表] 謝昀叡（北海道大学・院）

対面・遠隔場面における中国語学習者の聞き返しに関する考察

13：45～13：50 休憩

13：50～14：30 [研究発表] 馬花力（大阪大学・院）

“別” 構文の使用における主観性及び認知的解釈

14：30～14：40 休憩

14：40～15：20 [実践報告] 坂田美湖（北京大学・院）

朗読訓練が日本人中国語学習者の発音流暢度及び学習感情に与える影響

参加者数：申し込み44人、当日参加者約35人

【今後の予定】

2023 年度第2 回研究会（運営担当：東日本）

日時：2023年12 月9 日（土）13:00～15:20

開催方法：Zoom オンライン

当日の流れ（発表30 分+質疑応答10 分= 1 人40 分）

13：00～13：05 諸注意

13：05～13：45 [研究発表] 蔡宜霖（神戸市外国語大学・院）

台湾華語と「普通话」-文法的特徴を中心に-

13:50~14:30 [研究発表] 劉礫岩(京都文教大学・非)

会話における「还是」質問の機能に関する研究

14:30~14:40 10分休憩

14:40~15:20 [実践報告] 許挺傑(大分県立芸術文化短期大学)

大学の初修中国語の発音指導におけるブレンド型授業の設計と実践

2023年度第3回研究会(運営担当:西日本)

日時:2024年2月24日(土)(予定)形式:Zoom

2.2.6. 第22回全国大会(2024年度)準備委員会準備状況報告

同大会の準備状況について報告がなされ、理事会報告の後、以下のように決定された。

2.2.6.1. 大会準備委員

古川裕(委員長・大阪大学)、相原里美(関西外国語大学)、池田晋(佛教大学)

郭修静(大阪大学)、島村典子(京都外国語大学)、中田聡美(事務局幹事・大阪大学)

紅粉芳恵(大阪産業大学)

2.2.6.2. 開催時期、会場

日時:2024年6月1日(土)、2日(日)

会場:大阪大学 箕面キャンパス(「箕面船場阪大前」駅:2024年3月開業)

〒562-8678 箕面市船場東3丁目5番10号

開催方式:対面(ただし台風等の自然災害発生に備え、オンライン併用の準備を行う)

2.2.6.3. プログラム

【1日目(6月1日)】

13:00-13:10 開会式

13:10-14:40 基調講演「アメリカの中国語教育について(仮)」

講演者:梁霞先生(美国圣路易斯华盛顿大学(Washington University in St Louis)东亚系教学教授
・美国中文教师学会会长)

14:40-15:00 休憩

15:00-17:00 シンポジウム「継承語としての中国語教育を考える(仮)」

登壇者:小川典子・朱藹琳(愛知大学)

登壇者:櫻井千穂(大阪大学)

登壇者:李光曦(大阪経済法科大学)

登壇者:柳素子・王雁(大阪府立門真なみはや高等学校)

17:10-18:00 会員総会

18:30-20:00 懇親会

【2日目（6月2日）】

9:30- 受付

10:00-11:50（10:00-10:30、10:40-11:10、11:20-11:50）3会場×3枠

11:50-13:30 昼食

13:30-14:40（13:30-14:00、14:10-14:40、14:50-15:20）3会場×3枠

（1）分科会発表：発表時間20分、質疑応答10分。午前3会場、午後3会場確保

午前、午後ともに3会場×3枠で場所を確保しているが、発表希望者が少ない場合は、会場数を3から2へ変更する。

（2）ポスター発表：行うが発表時間は未定。

2.2.6.4. 今後のスケジュール

2023年	
12月中	ウェブページに第22回全国大会の告知開始
2024年	
1月中	会報に大会案内と発表応募要項を掲載（事務局：発行）
2/1-2/20	発表申込受付期間
3/10	発表採択者の決定
4月中	大会プログラムの発送
4/21	予稿集原稿締め切り
4/22-5/11	予稿集編集
4/22-5/11	事前参加申込期間（※1）
5月下旬	予稿集アップ（専用ページ）（※2）
6/1-6/2	大会当日

※1 キャンセルは5/11受付終了日までなら可。手数料を除いた参加費の返金を行う。

※2 司会担当者に、メールで担当分のみ別途送付する。

2.2.6.5. 発表申込みについて

（1）発表の種類と応募方法

発表形態は、分科会発表とポスター発表の二形態。応募は大会準備委員会が指定する期間に、「発表申込表」と「発表要旨」（1000字）を提出する。

（2）発表応募時期

ウェブページ、会報等で広報を開始し、2024年2月1日から2月20日23:00（日本時間）の期間に申し込みをメールで受け付ける。

（3）予稿集について

「デジタル版」のみを作成。発表予定者には「執筆要領」に従いデータの提出を求める。「デジタル版」は大会およそ1週間前から学会ウェブページに掲載。

(4) 発表時の使用言語

発表の申し込みの際に発表時の使用言語を書き込む欄を作る。申し込んだ使用言語以外は発表時認めない。(ただし質疑応答の場合はこの限りではない)

2.2.6.6. 大会参加費について

大会参加費：(4/22-5/11) 会員3,000円・非会員3,500円／(当日参加) 一律4,000円

昼食弁当：(4/22-5/11) 1,000円(2日目のみ)^(※1)

懇親会費：(4/22-5/11) 一律3,000円／(当日参加) 3,000円^(※2)

出店料：3,000円(会員団体)、5,000円(非会員団体)

※1 編集委員会、理事会関係者には1日目のみ弁当用意。大会スタッフ等関係者には、両日ともに弁当用意。

※2 懇親会への当日参加も受け付ける。人数は最大150名まで。

2.2.6.7. 学会託児について

箕面キャンパス内に託児室を用意する。1時間当たり1,000円(1日当たり最大5,000円)を利用者が負担する。その他は学会側で負担する。

2.2.6.8. 参加費等の集金について

参加費等の集金方法については未定。

2.2.6.9. 登壇者への謝金について

昨年度の大会では、基調講演の登壇者には謝金が支払われているが、シンポジウムの登壇者には謝金は支払われていない。シンポジウムも講演同様に、こちらから依頼して行うものである以上、シンポジウム登壇者にも謝金を支払う。

2.2.6.10. 施設利用料について

施設利用にかかる貸付料は、総額461,457円(予定)。部屋数、時間については今後変更有。

添付資料

資料①：発表申込表

資料②：応募規定

資料③：予稿集ウェブ公開同意書

資料④：予稿集執筆要領

2.2.7. 中国語教育ワークショップ・交流会の開催について

中国語教育ワークショップ・交流会ワーキンググループの活動について以下の通り報告がされた。

「中国語教育ワークショップに関するワーキンググループ」では、参加対象を中国語教育学会会員に限定した、中国語教育にかかわるワークショップを下記の通り企画・開催した。加えて、会員限定で録画も公開している。

第2回中国語教育ワークショップ

日時：2023年9月8日（金）20～21時

テーマ：「中国語教員として押さえておきたい中国語文法の基本」

講演者：丸尾誠（名古屋大学・教授）

メインターゲット：第二外国語で中国語を教える教員

形式：ZOOMを利用したオンライン講演

参加者数：約80名

第3回中国語教育ワークショップ

日時：2023年12月15日（金）20～21時

テーマ：「教材づくりのICT」

講演者：氷野善寛（目白大学・准教授）

メインターゲット：中国語教員全般

形式：ZOOMを利用したオンライン講演

参加者数：約80名

今後の予定は以下の通りである。

・第4回中国語教育ワークショップ

日時：2024年2月25日（日）20～21時

テーマ：「リサーチクエスションの立て方～『中国語教育』への投稿」

講演者：勝川裕子（名古屋大学・准教授）

メインターゲット：大学院生、若手研究者、これから論文の投稿や研究発表を考えている人

形式：ZOOMを利用したオンライン講演

次年度以降の実施や体制については、新会長に一任し、正式な委員会を組織して継続する場合は次回6月の理事会（総会へは報告事項）で内規を定めて運用することが決定された。

2.2.8. 対外交流の動きについて

2023年度第1回理事会以降現在までの対外交流について、学会誌の寄贈状況が報告された。

・世界華語文教育学会（台湾）から雑誌『華語文教学研究』の「第20巻第2期 2023年6月発行」が寄贈されてきた。

2.2.9. 会員システム関係

会員システムのアップデート作業が11月上旬に実施され、12月に以前から確認されていた会員の一部の入会年月日が記載されていない問題について事務局にて以下のように対応を行ったことが報告された。

入会申込書で入会日が確認できた事例は入会申込書に記載されている年月日を入力し、入会申込書で入会日が確認できなかった事例は、WEB会員システム移行前に使用されていたエクセルデータに記載されている入会年度を確認し、その年度の4月1日を入力した。ただし、いずれの場合もメールアドレスの登録がないデータについてはシステム上、修正を加えることができず、会員自身によるメールアドレスの登録を待って修正を加える必要があるため、作業をいったん保留とした。

また作業の結果、メールアドレスと住所の登録もない名誉会員が複数名存在していることが分かり。宛先不明の名誉会員について情報提供を今後呼びかけることとした。

2.3. 審議事項

2.3.1. 会長および理事の選出について

2024年～2025年理事選挙の開票結果（開票証明書は巻末の【資料⑤】を参照）に基づき、「会長、理事の選出に関する内規」の規定により理事候補とされる会員が以下の通り提示され、候補者の全員が次期理事就任を承諾した。その上で、得票数が1位であった植村麻紀子会員の次期会長就任が決定した。なお今回の理事選挙はオンライン選挙を初めて導入したが、トラブルなどは報告されなかった。開票立会は事前の取り決め通り、会長、代表理事3名、幹事1名が行った。

投票数：121人

有効投票数：121人

無効投票数：0人

開票結果（票数の後ろの※は会長経験者。票数が同数の場合は氏名の五十音順で配列。以下、敬称略。）

1位：植村 麻紀子41票

2位：氷野 善寛40票※

3位：清原 文代39票※

4位：加藤 晴子35票

5位：西 香織32票

6位：丸尾 誠30票※

7位：鈴木 慶夏29票

8位：古川 裕21票※

9位：紅粉 芳恵18票

10位：勝川 裕子17票

次点：三宅 登之 15 票※

2.3.2. 『中国語教育』編集委員会関連事項

2.3.2.1. 「執筆者を特定し得る記述」について

第22号の投稿論文において、執筆要領の「投稿原稿の本文及び注において、執筆者を特定し得る記述を避けること」に関する違反は昨年度より大幅に減ったが、それでも1件確認された。そこで、第二回編集委員会にて、1)執筆要項の変更2)テンプレート3)投稿票のチェックリストの変更を提案し理事会にて審議が行われ、まだ確定していないため、次年度の執筆要項については後日追加でウェブページに掲載することとする。

2.3.2.2. 『中国語教育』第23号（2024年度）編集委員選出について

『中国語教育』第23号（2024年度）編集委員の候補について、以下のように承認された。

〈2年目〉

藤井久美子（東洋大学）【委員長】

山下一夫（慶應義塾大学）

李偉（久留米大学）（中国語母語話者）

陳淑梅（東京工科大学）【理事枠】

〈1年目〉

望月雄介（松山大学）

路浩宇（九州国際大学）（中国語母語話者）

宮本大輔（慶應義塾大学）

次期理事より1名【理事枠】

2.3.3. デジタルリソース委員会2024～2025年度委員選出について

デジタルリソース委員会2022～2023年度委員が、以下の通り承認された、

委員長：伊藤大輔（目白大学）

委員：太田匡亮（大阪大学・非）、中田聡美（大阪大学）、李光曦（大阪大学・院）

2.3.4. 学会誌のデジタル化について

デジタル化に関して複数の会社に見積もりを依頼していること、過去の論文の著作権許諾について2023年度中に確認の連絡を開始すること、「中国語初級段階学習指導ガイドライン」等、中国語教育学

会名義で過去に作成された資料の著作権の取り扱いについて審議された。

氷野会長からの上記の報告に対して、過去の論文と「中国語初級段階学習指導ガイドライン」の著作権所持者には今年度中に権利を移譲してもらえよう事務局から打診することが承認された。

2.3.6. 幹事の謝金の取り扱いについて

幹事の謝金の支払い方や支払の時期等について審議がなされた。

2.3.6. 会員名簿の印刷とオンライン化に関する検討

2年に1度名簿を印刷し会員に送付しているが、紙代などが高騰している中、経費として30万円以上の費用がかかるため、今年度の会員名簿の印刷はいったん保留とし、会員が会員システムを通じて検索できるようにできないか検討することなどが審議された。

3. 事務局からのお知らせとお願い

3.1. 会員動向及び会費納入状況

(以下、敬称略)

(1) 会員数 (2023年11月22日現在) : 計582名

個人会員559名 (通常会員518名、名誉会員41名) / 団体会員23名

(2) 新入会者 (2023年5月15日～2023年11月22日現在) : 計24名

高寧 (北京語言大学東京校・非)、鎮守琳 (関西大学大学院・院) 中川真宏 (なし・他)、王宇清 (九州大学)、坂田美湖 (北京大学对外漢語教育学院漢語国際教育修士・院)、戸田滯佳 (金沢大学 人文学類 日本・中国言語文化学プログラム・他)、本田恵三 (HSK日本実施委員会/一般社団法人日本青少年育成協会・他)、林松涛 (語林中国語教室・他)、久保輝幸 (横浜商科大学)、符麗紅 (富山大学・非)、穆雪梅 (長崎外国語大学・非)、陳瀟瀟 (法政大学・非)、方雨琦 (新東方前途株式会社・他)、金敬玲 (國學院大學・院)、栗原諄孝 (早稲田大学・院)、伊地知太郎 (the courage・他)、楊知美 (大阪府立東淀川高等学校)、李穎慧 (個人・他)、何静 (名古屋大学大学院・院)、張玥 (慶應義塾大学・非)、黃暉助 (異文化コミュニケーション附属日本語学校)、高柳和男 (なし・他)、蔡宜霖 (神戸市外国語大学・院)、木村 智子 (なし・他)

(3) 退会届け提出者 (2023年5月15日～2023年11月22日) : 計16名

(4) 除籍者 : 計13名

山根史子、鄧守信、陳昌柏 (神戸大学国際文化学研究科外国語教育・院)、蔡喬育 (台湾師範大学資訊教育研究所・院)、施滬念 ((株)東京外国語センター・非)、王英輝 (東京大学・院)、蘇雪蓮 (愛知淑徳大学コミュニケーション研究科・院)、戴蓉 (愛知大学現代中国学部・他)、李穎麗 (名古屋大学大学院・院)、陳激 (大月短期大学・非)、太田有香 (東京外国語大学総合国際学研究科・院)、方建萍 (AEON株式会社)、別紅櫻

(5) 会費納入状況 2,360,000 円 (2023年11月20日現在)

3.2. 会費納入のお願い

会費未納の方は、お早めに納入くださるようお願い申し上げます。会費納入状況は会員自身でWEB版会員名簿（会員情報管理システム）にて確認することができます。

<https://a-youme.com/aymms/jacle/login>

4月に郵送した払込取扱票を紛失された場合は、郵便局に備え付けの「払込取扱票」を使用して、下記の郵便振替口座に送金してください（その場合には、通信欄に氏名および会員番号を、会員番号がわからなければ、氏名に加えて学会に登録している住所を必ずご記入ください）。

[口座記号-口座番号] 00110-1-191152

[加入者名] 中国語教育学会

3.3. 退会および除籍について

退会を希望される方は、当該年度までの会費をすべて納入した上で、学会サイトの「Web版会員名簿・変更手続き」にログインして退会手続きを取っていただきますようお願いいたします。なお、会則第5条に基づき除籍になった会員は氏名が会報に掲載されますのでご注意ください（会報は学会Webサイトで公開）。退会届が受理された場合、退会者の氏名は掲載いたしません。

3.4. 登録情報の変更について

学会登録情報（住所・所属・メールアドレス等）に変更がある場合には、会員自身が本学会サイトのWEB版会員名簿にログインして、ご自身で変更していただきますようお願いいたします。

WEB版会員名簿の運用については、あゆみコーポレーションに委託しております。WEB版会員名簿に関するお問い合わせは下記のあゆみコーポレーションまでお願いします。

〒550-0001

大阪市西区土佐堀1丁目4-8 日栄ビル703A

あゆみコーポレーション内 中国語教育学会事務局事務代行

E-Mail : support@jacle.org

TEL. 06-6441-5260 (代) FAX. 06-6441-2055 (代)

あゆみコーポレーションは複数の学会の事務局代行を行っており、電話番号、ファックスとも他学会と共通で使用しているため、ご連絡の際には「中国語教育学会」についての問い合わせであるということをお伝えください。

3.5. 住所不明の会員（敬称略）

下記の会員が住所不明で学会からの郵便物が返送されてきています。連絡先をご存知の方はあゆみコーポレーション内の事務局事務代行（support@jacle.org）までご連絡ください。

徐 佳、苞山 武義

資料①：発表申込表

申し込み表

中国語教育学会第22回全国大会発表申し込み表 2024年度(必ず当該年度のファイルをお使いください)

項目	記入欄 (必ずB欄にご入力ください)
氏名 ¹⁾	
会費納入状況	滞納なし・2023年度分も含め滞納あり ²⁾
住所	〒
E-mail	
電話	
所属機関	
共同発表者の氏名(所属) 該当しない場合は空欄にしてください	
発表題目 ³⁾	
発表形態	分科会発表・ポスター発表
使用言語	日本語・中国語
応募中(ないし予定)も含め類似する内容または題目 の発表・論文の有無	有・無 ⁴⁾
第22回全国大会の応募要項の各項に同意するか否か	同意する・同意しない ⁵⁾
発表申し込みの際し、執筆者は第三者の権利を一切侵害し ていないことを保証する	はい・いいえ ⁶⁾
大会準備委員会が定める大会前後の期間中、予稿集の 原稿を電子化して公開することに同意するか否か	同意する・同意しない ⁷⁾

<注>

1) 非会員は発表の申し込みはできません。申し込み時に入会を希望される場合は、必ず申し込み前に入会手続きを済ませてください。入会手続きは必ず学会HP「入会について」の手順で行ってください。応募期間開始日までに会費納入が事務局により確認されたものが有効となります。通常、入会手続きには1週間程度かかりますのでご注意ください。

2) いずれか一つを残し、該当しないものを削除してください。

3) 後で変更することはできません。慎重にご考慮ください。

4) いずれか一つを残し、該当しないものを削除してください。他学会・雑誌等で正式に発表したもの及び発表予定のものを二重に申し込むことはできません。この項目に該当する方は、この欄に具体的に他の発表ないし論文を申告し、今回の応募発表がそれと異なる点をご説明ください。

5) いずれか一つを残し、該当しないものを削除してください。「同意する」を選択していない場合、失格となります。なお、詳細については別紙参照のこと。

6) いずれか一つを残し、該当しないものを削除してください。「はい」を選択していない場合、失格となります。なお、詳細については別紙参照のこと。

7) いずれか一つを残し、該当しないものを削除してください。「同意する」を選択していない場合、失格となります。なお、詳細については「予稿集ウェブ公開同意書」を参照のこと。

資料②：応募規定

第22回大会（24年6月開催）発表応募規定

一、応募資格

1. 発表の申し込みは本学会の会員に限る。ただし発表応募開始日までに2023年度も含め滞納分全額の払い込みが事務局により確認されない場合、失格となる。
2. 滞納分及び新規入会分とも2024年1月30日までに指定の口座に振り込むこと。
3. 郵便局にある振込取扱票（青色で印字したもの）を使って、会員氏名、会員番号を記入の上、以下の振替口座に振り込むこと。
口座番号：00110-1-191152
加入者名：中国語教育学会
4. 今回の発表のために新たに入会を希望する場合は、発表応募開始日までに入会申し込みを済ませ、初年度の会費の支払を完了し、学会事務局より会員番号が付与される必要がある。
5. 共同発表の場合は、発表筆頭者が会員である必要がある。

二、発表内容

発表内容は、広く中国語教育に関わるものであること。未発表のものに限る。

三、発表形態

分科会発表及びポスター発表を実施。発表申し込み表にて、希望する発表形態を明記すること。

四、発表者について

一人の会員が筆頭発表者となることができる発表は1件に限る。共同発表の場合はさらにもう1件第二発表者以下に名を連ねることができる。ただし同一内容の発表を二つ以上に分割して発表することは原則禁止とする。共同発表の筆頭発表者は必ず大会に出席して発表しなければならない。また共同発表者の構成を応募後に変更することはできない。

五、使用言語

発表での使用言語は日本語、あるいは中国語とし、発表申し込み表に記載した発表言語は原則として変更することはできない。

六、応募要領

発表希望者はウェブサイト上にある2024年度用のテンプレートを使って「発表申し込み表」と「審査用要旨」を作成し、電子メールに添付して大会準備委員会あてに送付する。応募期間は、2月1日（木）0時（日本時間）から2月20日（火）23時（日本時間）までとする。締切に遅れた場

合は、理由の如何を問わず、一切受理しない。

(1) 発表申し込み表

EXCEL形式を原則とするが、作成不能な場合はWORD形式またはテキスト形式も受理する。

(2) 審査用要旨

発表言語（日本語または中国語）で1000字程度、A4判に横書きで一枚におさまる分量で作成すること。提出するファイルの形式はPDF、WORD、テキストのいずれか（図形や特殊なフォントが含まれている場合は必ずPDF形式で提出すること）。規定の字数、枚数を守っていないものは審査対象としない。

(3) 予稿集ウェブ公開同意書

発表申し込みには「予稿集ウェブ公開同意書」に同意する必要があります。必ずご一読ください。

七、書類提出先

件名を「中国語教育学会第22回全国大会発表申し込み」として、以下の大会準備委員会メールアドレス宛に添付ファイルで送信すること。

taikai2024■jacle.org（■を@に代えて使用してください）

八、採択結果について

採否は大会準備委員会が決定し、理事会に報告する。採択者の氏名は2024年3月10日頃までに中国語教育学会のウェブサイト上で発表し、採択者にはメールでも通知する。採択された場合は、予稿集に掲載する原稿を「予稿集原稿作成要項」に沿って、指定の期日2024年4月21日（日）23時（日本時間）までに提出すること。なお、今22回大会もウェブ予稿集のみとなります。

九、失格について

以下の場合には採択後であった場合でも失格とする。

1. 二重投稿や第三者の権利侵害が発覚した場合
2. 発表者、発表題目が変更された場合（※提出された発表題目の変更は原則認められず、文法上の誤りなどがあった場合にのみ、個別に対応し処理する。）
3. 予稿集に掲載する原稿の提出期限に原稿が届かない場合
4. 予稿集の原稿と当日のスライドが著しく異なると判断できる場合

資料③：予稿集ウェブ公開同意書

予稿集投稿原稿のウェブ上での公開について

本大会では、大会の1週間前から予稿集を学会サイトに公開します。そのため発表申し込み者は、以下の項目に同意をお願いします。

1. 予稿集原稿に投稿する原稿（以下「原稿」）を中国語教育学会ウェブページで公開する。
2. 公開期間は、全国大会開始1週間前から大会終了後1週間程度の期間とする。
3. 公開期間中は会員・非会員を問わず閲覧することができる。特許などに係る事項がある場合は公開方法については別途相談とする。
4. 引用の範囲を超えて転載する内容が含まれる場合や、転載の許諾が必要な図版等を利用する場合は、発表予定者が必ずインターネットで公表することを前提として著作者から許諾を得ること。図版の出所や引用元の明示が必要な場合も同様とする。図版等はモノクロで掲載される。
5. 共同発表の場合は、代表者が共同発表者全員に同意を得ることとする。
6. 原稿の中で使用した写真の肖像権や研究対象の個人情報には配慮すること。写真に写ることや研究対象となることに対する同意のほかに、インターネットに公表されることについても同意が必要である。
7. その他、原稿の内容や公開に際して本学会や第三者に不利益が生じた場合、いかなる場合も本学会は責任を持たない。

資料④：予稿集執筆要領

執筆要領

1. 提出原稿

ワードファイルとPDFファイルを電子メールの添付ファイルで送付すること。IPA（国際音声字母）を使用する場合はTimes New Romanの範囲に収め、特殊フォントを使用しないこと。PDFファイルはフォント埋め込みで保存する。

2. 提出先と締切

全国大会準備会

Email: taikai2024■jacle.org（■を@に代えて使用してください）

提出締切日：4月21日（日）23時 ※日本時間

3. 使用言語

日本語での発表の場合は日本語で作成し、中国語での発表の場合は中国語で作成する。
※申込時の使用言語を変更しないこと。

4. 紙サイズと分量

A4サイズ5頁以内

5. 書式

上下左右に25ミリの余白をとり、1行40文字×40行とする。

ページ数は印字しない。

1ページ目

第1行 論文タイトル 14ポイント

第2行 副題12ポイント（副題が無い場合は第3行へ）

第3行 空行とする12ポイント

第4行 執筆者名 12ポイント（執筆者が複数名の場合は、執筆者A・執筆者Bのように「
・」で結ぶ）

第5行 執筆者の所属機関 11ポイント（執筆者が複数名の場合は、それぞれの執筆者名の下に所属機関を入れる）

第6行 空行とする11ポイント

第7行 大節見出し12ポイント

以下続けて本文11ポイント

脚注（注番号には片括弧を上付きでつける）・参考文献（著者名をアルファベット順に並べる） MS明朝9ポイント

日本語の句読点は全角の「，／。」を用いる。中国語の標点符号も全角を用いる。

※中国語で執筆する場合はテンプレートファイルのフォントを以下に置き換える。

MS明朝→SimSunまたはMingLiU

MSゴシック→SimHei

6. 注意事項

- ・提出された原稿の差替えや訂正はできない。
- ・図版等はモノクロで掲載されるため、白黒でない網掛けやカラーを含む場合は留意されたい。
- ・大会当日の発表は、予稿集の原稿内容から逸脱するものであってはならない。
- ・大会当日に、予稿集以外の追加資料を配布してはならない。

資料⑤：理事選挙結果

記

【選挙名】中国語教育学会 2024 年～2025 年理事選挙

【開票日時】2023 年 11 月 25 日（土）

【開票方法】選挙終了後、電子投票システムの管理を行う（株）あゆみコーポレーションから会長、代表理事 3 名、幹事 1 名の 5 名に対し、電子メールによる結果の通知が行われた。

投票数：121 人

有効投票数：121 人

無効投票数：0 人

開票結果

1 位：植村 麻紀子 41 票

2 位：氷野 善寛 40 票

3 位：清原 文代 39 票

4 位：加藤 晴子 35 票

5 位：西 香織 32 票

6 位：丸尾 誠 30 票

7 位：鈴木 慶夏 29 票

8 位：古川 裕 21 票

9 位：紅粉 芳恵 18 票

10 位：勝川 裕子 17 票

次点：三宅 登之 15 票

以上の選挙について、正当な手続きに基づき、正確かつ公正な開票がなされたことをここに証する。

開票立会人

氷野 善寛 

加藤 晴子 

丸尾 誠 

清原 文代 

中田 聡美 

以上